

資料提供	
平成27年10月28日	
担当 (担当者)	水産試験場 (太田)
電話	0859-45-4500

## 2015年(平成27年)漁期 沖合底びき網におけるズワイガニの見通し

### 解禁直後(鳥取沖・隠岐北西沖・出雲沖)

松葉がに…前年・平年を下回る。

若松葉…前年・平年を大きく上回る。

親がに(雌)…前年を上回るが、平年を下回る

漁期全般:漁獲量は前年並～若干上回る。

### 解禁直後の見通しの根拠となった情報

調査船「第一鳥取丸」による調査結果 10月6日～26日にかけて、山陰沖の水深182m～440mの海域において、合計28の調査点で着底トロールによる漁期前調査を行いました(図1)。調査海域内における漁獲対象となるズワイガニの推定資源尾数(単位=万尾)は表1のようになりました。

表1 調査海域におけるズワイガニの推定資源尾数(単位=万尾)

区分	2012年	2013年	2014年	2015年	前年比	直近3カ年平均	平年比
松葉がに(甲幅9.5cm以上)	39	63	53	39	72%	52	74%
若松葉(甲幅10.5cm以上)	176	189	134	424	316%	166	255%
親がに(くろこ)	249	211	175	199	114%	211	94%

※くろこ:漁獲対象となる茶黒色や黒紫色をした卵を持ったメスガニ

松葉がに:海域全体で減少し、推定資源量は前年比72%となりました(表1、図2左)。甲

幅10～12cm台の小～中型個体を主体に、13.5cm以上の大型個体も漁獲されました(図3)。

若松葉:隠岐北西沖で大幅に増加し、推定資源量は前年比316%となりました(表1、図2中央)。甲幅10～12cm台の小～中型個体が主体となりました(図3)。

親がに:隠岐北西沖で減少したものの、出雲沖で大幅に増加し、推定資源量は前年比114%となりました(表1、図2右)。甲幅7～8cm台の小～中型個体が主体となりました(図3)。

### 漁期全般の見通しの根拠となった情報

- (1) 鳥取県の沖合底びき漁業による漁獲量の推移 本県のズワイガニ漁獲量は2004年(1,587ト)まで増加しましたが、その後は減少～横ばいで推移しています(図4)。2014年漁期の漁獲量は松葉がに256ト、若松葉114ト、親がに557ト、合計927トトんで、前年(934ト)及び平年(過去3年平均1,069ト)を下回りました。
- (2) 水研調査(調査月:5-6月): 国立研究開発法人水産総合研究センターは、日本海A海域(富山県以西)における2015年漁期当初のズワイガニ資源量について、カタガニ(松葉がに)は前年並み、メスガニ(親がに)は前年を下回る(ただし、隠岐周辺海域では前年を上回る)、ミズガニ(若松葉)は前年を上回ると推定しています(図5-6)。
- (3) まとめ 第一鳥取丸の調査結果から調査対象海域では、雌の資源は維持されているものの、成熟した雄の資源は減少しています。また、長期的な漁獲量の変動と広域の試験調査結果を考慮すると、大幅な漁獲量の増加は期待できないことから、漁期全般の漁獲量は前年並か若干上回る程度と見通しています。

## 今後の資源状況

甲幅 10cm 以下のオスの未成年ガニが非常に多く、また甲幅 6~7cm のメスの未成年ガニも多いことから、これらのガニが順調に成長すれば来年漁期から漁獲量が上向くものと考えられます。このため、未成年ガニが多量に入網する海域（隠岐西方の水深 250m 以浅）での操業自粛や、小型ガニの再放流に加え、ズワイガニ漁期外での改良網（小型のカレイ類、ズワイガニを逃がすことが出来る網）の使用頻度の向上等により、資源保護に努める必要があります。

**ホームページ** 本報告は水産試験場ホームページに掲載しています。トップページの「調査研究」からアクセスできます。

[https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/989164/2015zwaigani\\_gyokyou.pdf](https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/989164/2015zwaigani_gyokyou.pdf)

**その他** 第一鳥取丸の調査で採集した松葉がに 52 尾中、トップブランド「特選とっとり松葉がに五輝星」相当（甲幅 13.5cm 以上、重量 1.2kg 以上、脚が全てそろっているガニ）は 1 尾のみでした。



図 1 試験操業位置（図中黒丸が操業位置）

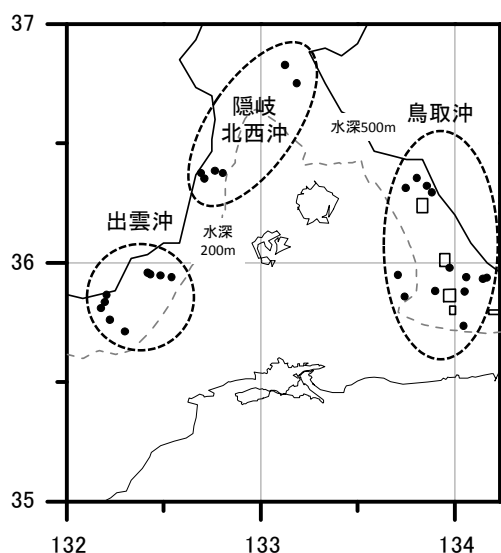


図 2 年別海域別の資源尾数（2011-2015 年）

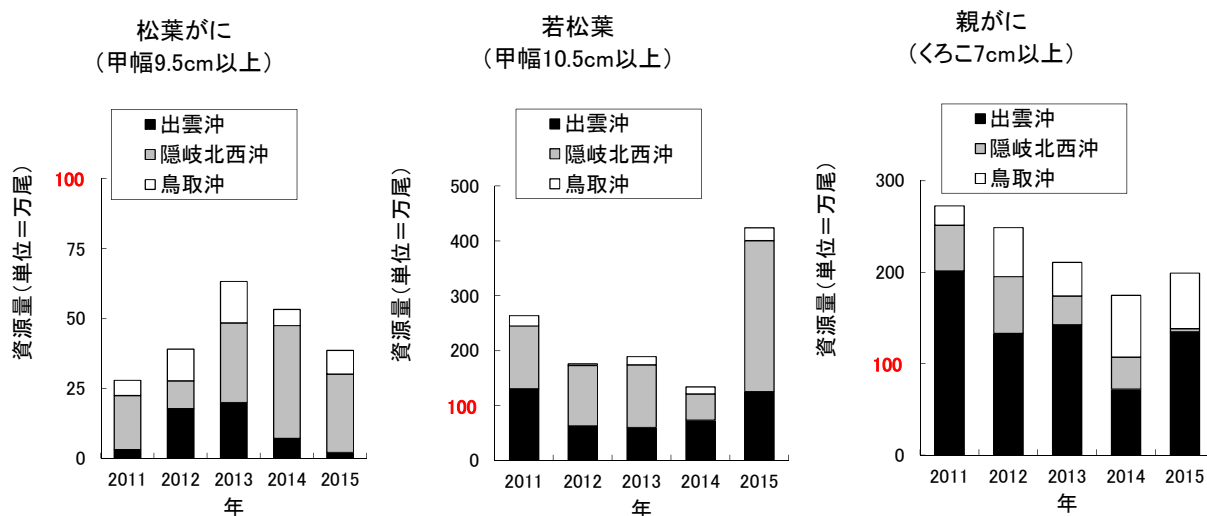
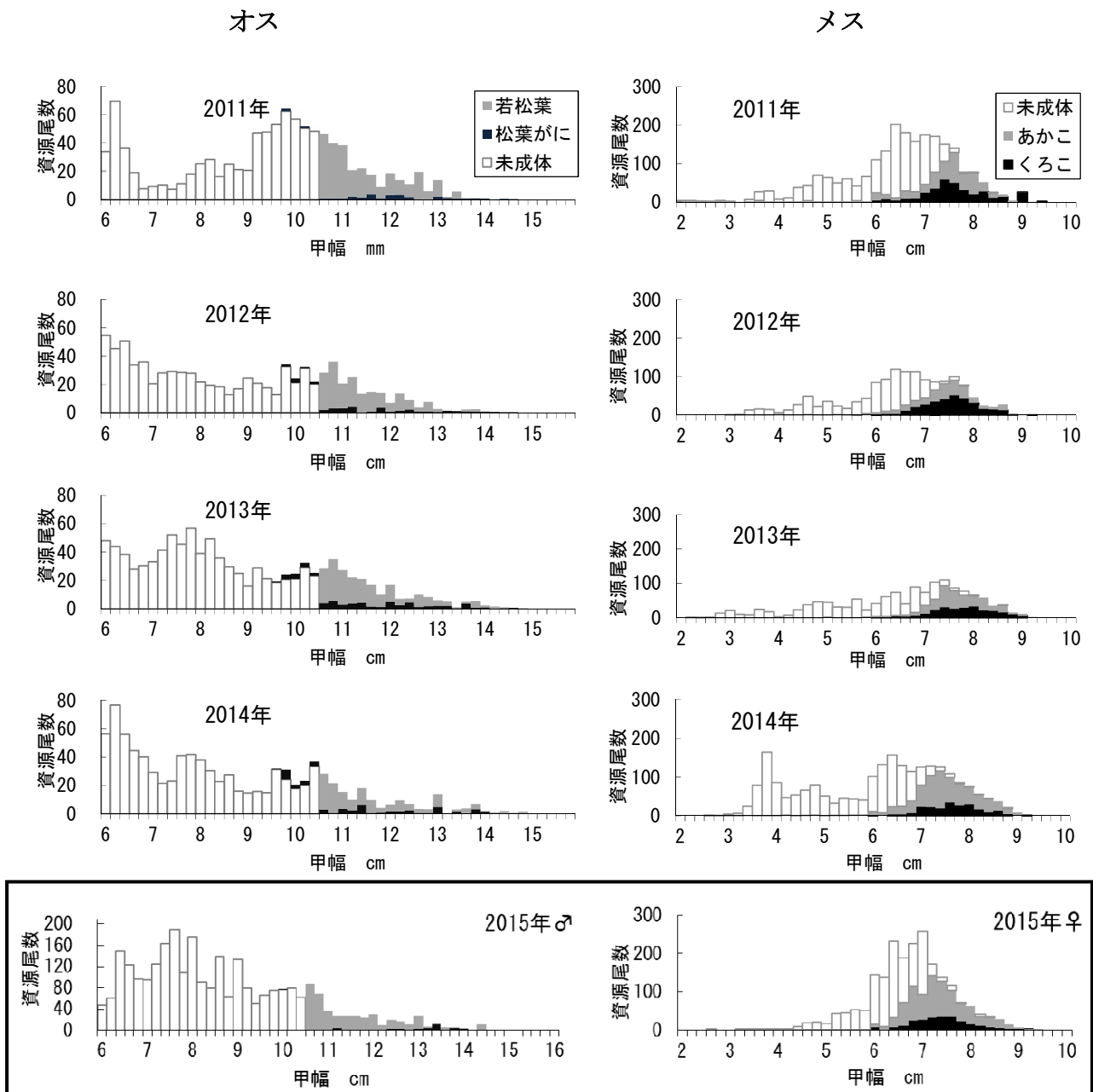


図3 トロール網による調査海域全域におけるズワイガニ甲幅組成の推移 (2011-2015年)



(注) 資源尾数の単位は万尾。2015年のオスの縦軸の目盛が異なります。

図4 鳥取県におけるズワイガニの漁獲量 (1990~2014年：漁期年)

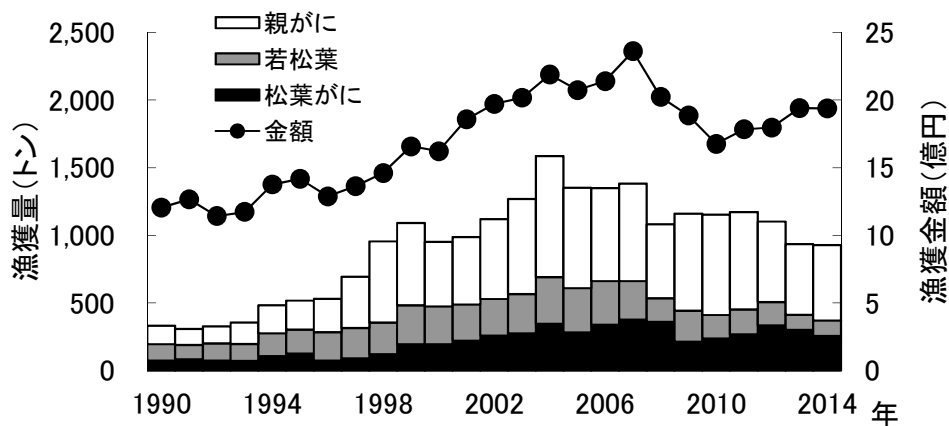


図5 A海域（富山県以西）におけるズワイガニ雄の資源量（縦軸の単位は百トン）  
 国立研究開発法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所資料

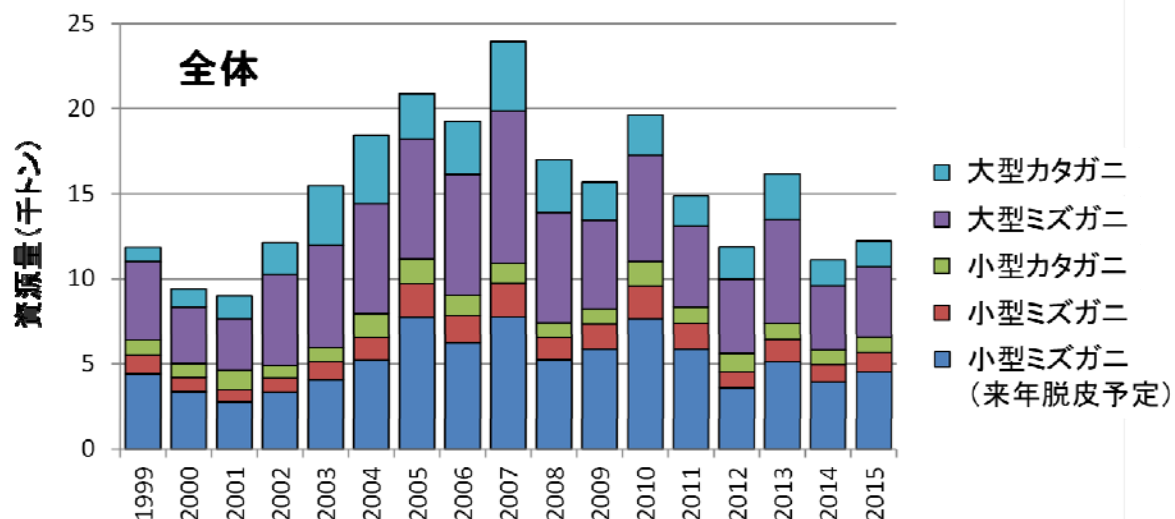


図6 A海域（富山県以西）におけるズワイガニ雌の資源量（縦軸の単位は百トン）  
 国立研究開発法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所資料

